

日本企業に求められる

# グローバル原価管理

## ●プログラム●

### 【開催主旨】

グローバル化の深化により、日本企業は国内のみならず、海外の工場でも生産を行い、グローバル市場へ出荷することが当たり前になっています。一方で、グローバルでの競争環境の激化によるコストダウンの圧力も増しており、これまで各工場で行ってきた原価管理をグローバルレベルで鳥瞰的に管理する必要性が高まっています。

本セミナーでは、日本企業に求められるグローバルレベルの原価管理の必要性について解説するとともに、グローバル原価管理構築に向けたステップ・アプローチについて、取り組み事例を交えながら紹介いたします。

◆日時： 2015年3月6日(金) 13:30~16:30

◆会場： 東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師： デロイト トーマツ コンサルティング (株)

河野 慎一郎氏 (かわの しんいちろう) CFO サービスユニット マネジャー

### 【略歴】

外資系コンサルティング会社を経て現職。日系製造業を中心に、グループ経営管理制度、予算管理制度、原価計算制度・原価企画の構築など、主に管理会計領域の制度設計から導入定着化のプロジェクトに従事。グローバル企業に対し、本社-子会社間のガバナンス構造改革やグローバルでのファイナンス組織体制の再構築、キャッシュマネジメント再構築支援なども手がけている。

森田 修平氏 (もりた しゅうへい) CFO サービスユニット シニアコンサルタント

### 【略歴】

監査法人を経て現職。財務会計・管理会計領域を専門に、製造業を中心としたグローバルでの経営管理制度や原価管理制度構築、原価管理組織の設計・導入、会計システムの導入支援などに従事。

個別受注生産型・企画量産型等形態を問わず、原価管理制度構築において多数のコンサルティング実績を持つ。

## ●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申し込みいただけます

### ●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→

【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

141657-0601	※ 2015.3.6 グローバル原価管理		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名 前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名 前	
e-mail			

\*申込書にご記入頂きました個人情報、本研究会に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

# 日本企業に求められる グローバル原価管理

<13:30~14:30>

## 第1部 「グローバル原価管理の必要性と実現の巧拙」

デロイト トーマツ コンサルティング (株) CFO サービスユニット マネジャー 河野 慎一郎氏

1. グローバル原価管理が必要とされる背景
2. これまでの原価管理の問題点とその弊害
3. あるべきグローバル原価管理
4. グローバル原価管理の活用
  - (1) 原価企画とライフサイクル損益管理
  - (2) 連結製品別損益管理
5. グローバル原価管理の実現時に陥りやすい落とし穴

<14:45~16:15>

## 第2部 「グローバル原価管理構築のアプローチと実現の要諦」

デロイト トーマツ コンサルティング (株) CFO サービスユニット シニアコンサルタント 森田 修平氏

1. グローバル原価管理構築の全体像
  - (1) グローバル原価管理構築のステップ
  - (2) グローバル原価管理実現に向けた具体的なアプローチ
2. グローバル原価管理実現に向けた課題と解決の方向性
  - (1) 制度・業務設計上の課題と解決の方向性
  - (2) 制度・業務面における取り組み事例
  - (3) システム構築上の課題と解決の方向性
  - (4) システム面における取り組み事例

<16:15~16:30>

質疑応答